

授業と評価の年間計画			
教科	保健体育	科目	保健
使用教科書(発行所)		現代高等保健体育(大修館)	
履修条件 対象生徒	必修 普通科 1年		
学習目標	(1) 日常的にスポーツに親しむなど、生涯体育の実践を目指して、積極的に運動とかかわるために必要な能力や態度を身に付ける。 (2) 体力の向上を目指し、仲間と協力し、助け合いながら心身を鍛える。 (3) 健康・安全に関する基礎的な知識を習得し、より健康的な生活を送るための実践力を育てる。		
学習方法	【授業】 教科書「現代高等保健体育(大修館)」の内容を中心に授業を行う。視聴覚機器の活用や調べ学習、ロールプレイング、ディベート他、主体的な学習態度が求められる。 【補習・その他】 授業で使用した資料(プリント等)は各自でファイリングするなど保管しておくこと。ノートは授業担当者の指示で提出できるようにまとめておく。		
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで ア 健康の考え方となり立ち イ 私たちの健康のすがた ウ 生活習慣病の予防と回復 エ がんの原因と予防 オ がんの治療と回復 カ 運動と健康 キ 食事と健康 ク 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について説明できる。 生活習慣病の種類と要因について説明できる。 健康と運動、休養、睡眠、食事の関係に説明できる。 	
	2 2学期 (1) 期末考査まで ア 喫煙と健康 イ 飲酒と健康 ウ 薬物乱用と健康 エ 精神疾患の特徴 オ 精神疾患の予防 カ 精神疾患からの回復 キ 現代の感染症 ク 感染症の予防 ケ 性感染症・エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒・喫煙の影響について説明できる。 薬物の乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 精神疾患の例をあげ、発病と要因とおもな症状について説明できる。 精神疾患を予防する方法について説明できる。 感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 性感染症、エイズが他の感染症と異なる点について説明できる。 	
	3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 健康に関する意思決定・行動選択 イ 健康に関する環境づくり ウ 事故の現状と発生要因 エ 安全な社会の形成 オ 交通における安全 カ 応急手当の意義とその基本 キ 日常的な応急手当 ク 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> 事故の実態と被害の実態について説明できる。 安全のために必要な個人の行動について説明できる。 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について説明できる。 応急手当・心肺蘇生法の意義と基本を理解し、実践できるようにする。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について、課題解決に必要な基礎的事項を理解している。	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを的確に表現できる。	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。
評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3つの観点について授業態度、レポート作成、ノート整理、実習、定期考査を参考に総合的に判断して評価する。		
その他			